

# 牛久：学校周辺に見る自然

第52号 みずべ公園（ひたち野うしく小）

2016年12月5日発行

＜ 秋の終わりに、そよかぜ学級とみずべ公園を歩く ⑤バッタ、カマキリのなかま ＞  
11/17、ひたち野うしく小そよかぜ学級の皆さんと歩いた、秋の終わりのみずべ公園。今回はバッタやカマキリのなかま。

この日、一番多く見られたのは、コバネイナゴでした。手でたくさんつかまえたので、じっ



くり観察することができました。  
交尾しているものも見つけてくれましたが、なんと、おすが重なって2頭おんぶしているものもありました。どちらかが割りこんできたのでしょうか？

次に多かったのはオンブバッタ。ただし枯れ草と同じ色をしていたので、一時的に見失ってしまいうこともありました。同じあたりで、カナヘビも見られましたね。



コバネイナゴ、つかまえた～！（上）コバネイナゴの交尾（左下）。上にはおすが2頭かさなっていた。  
枯れ草にまぎれ、見失いがちなオンブバッタ（右下）。



イヌシデの幹では、太い枝との分かれめのあたりにアオマツムシがいました。たいへん動きがにぶく、ほとんどじっとしていました。

日に日に寒い日が多くなってきましたが、バッタのなかま（バッタ目）も、ツチイナゴなど成虫で冬ごしするもの以外はこれでもう見おさめかもしれませんね。

イヌシデの幹で、動きがにぶくじっとしていたアオマツムシのめす。



イヌシデ<sup>みき</sup>の幹にハラビロカマキリの卵のう(左2枚)。別の木にも(右)。

カマキリのなかまでは、ハラビロカマキリ<sup>らん</sup>の卵のうが数カ所で見つかりました。ここ数年、みずべ公園ではオオカマ

キリやチョウセンカマキリが少なくなっているように思いますが、いかがでしょう？



↑ ハラビロカマキリも、つかまえた～！

オオカマキリ<sup>らん</sup>の卵のうは、他の場所ではセイタカアワダチソウ<sup>くき</sup>の茎などでもよく見かけますが、もしかすると草刈りのときにいっしょに刈られてしまっているのかもしれませんが。もしそうだとしたら、産卵期<sup>さんらんき</sup>と草刈りのタイミングをずらすなどできれば残せるかもしれませんね。カマキリも、みずべ公園<sup>だいじ</sup>の大事な生きもの<sup>いちいん</sup>のつながり<sup>じょうたい</sup>の一員。よりよい状態にしたいものです。

【理科支援員:宮内】

← イヌツゲ<sup>う</sup>の植えこみ<sup>らん</sup>のおくに、ようやく見つけたオオカマキリ<sup>らん</sup>の卵のう。